

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 34, No. 6 June 1988

# 泌尿器科紀要

第34巻 第6号 1988年6月

## 【原著】

ヒト精巣 FSH レセプター測定法について	並木 幹夫・ほか	945
特発性男子不妊症における精巣 FSH レセプターについて	並木 幹夫・ほか	951
特発性男子不妊症に対する hMG-hCG 療法の有効性と 精巣 FSH レセプターの相関について	並木 幹夫・ほか	957
小児尿路結石の ESWL による治療	若林 昭・ほか	963
膀胱腫瘍の異所性再発例の検討	岩室 紳也・ほか	967
過去10年間の膀胱全摘術の検討	湯浅 誠・ほか	975
再発性表在性膀胱腫瘍に対する BCG 膀胱内注入療法	中野 勝・ほか	983
前立腺癌における腫瘍マーカーの臨床的検討 —Prostatic acid phosphatase, Prostatic antigen, $\gamma$ -Seminoprotein の 同時測定による検討—	塚本 泰司・ほか	987
過去5年間の前立腺癌新来患者の傾向	森山 信男・ほか	997
経尿道前立腺切除術でみつかった偶発前立腺癌	浅川 正純・ほか	1003
陰茎背神経伝導速度の測定法	際本 宏・ほか	1007

## 【症例】

副甲状腺癌の1例	中野 勝・ほか	1011
転移性腎腫瘍(食道原発)の1例	岡本 英一・ほか	1017
腎細胞癌を伴う微小腎嚢胞の1例	宇都宮正登・ほか	1023
ステロイドが著効した後腹膜線維症の1例	三宅 修・ほか	1027
限局性腺性尿管炎 —尿管腺癌と関連して—	高橋 義人・ほか	1031
若年者にみられた原発性膀胱腺癌の1例	斉藤 清・高橋 俊博	1035
S状結腸に浸潤した尿管移行上皮癌の1例	斎藤 和男・ほか	1039
膀胱全摘除術後に亀頭および尿道舟状窩に再発した膀胱腫瘍の1例	長田 恵弘・ほか	1043
ネオスタグミンクモ腹下腔内注入による人工射精で 女子を得た男子脊損患者の1例	羽間 稔・ほか	1047
集学的治療により完全寛解が得られた進行陰茎癌の1例	郭 俊逸・ほか	1051
陰茎転移により発見された性腺外精上皮腫の1例	堀井 康弘・ほか	1057
染色体異常をともなう男性不妊 第3報: 46, XYq-	羽間 稔・ほか	1063
陰囊 Paget 病の1例	高橋 義人・ほか	1069

## 【治験】

尿酸カルシウム結晶形成, 成長, 凝集に対する CG-120 の阻止効果	鈴木 孝治・ほか	1073
血液透析における抗凝固剤としての蛋白分解酵素 阻害剤 FUT-175 の有用性	朴 勺・ほか	1077
腎不全患者の高血圧に対する Guanabenz の臨床的・ 基礎的検討	西尾 正一・ほか	1083
慢性前立腺炎における八味地黄丸と ST 合剤との併用療法	金子 茂男・ほか	1091
オフロキサシンの前立腺組織への移行について(英文)	浅川 正純・安本 亮二	1097
前立腺炎症例におけるエノキサシンの精液内濃度について	安本 亮二・浅川 正純	1101
Cefspiramide (CPM) の前立腺組織内移行に関する検討	高田 耕・ほか	1105
Oligozoospermia に対する Mecobalamin の臨床効果 —二重盲検比較試験による検討—	熊本 悦明・ほか	1109

## 購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 8,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772 番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1988年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
  2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで和文または英文とする。
    - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文 5 頁 (400 字 × 20 枚)、図 (Fig.) 10 枚、表 (Table) 10 枚までとする。
    - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文 3 頁 (400 字 × 12 枚)、図 (Fig.) 5 枚、表 (Table) 3 枚までとする。
    - (3) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め (ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。  
ワープロを使用する場合も B 5 版原稿用紙に 1 枚 20 × 20 字とする。
    - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名 (教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。下段に筆頭者名と、2 語からなる running title を付記する。  
例：山田・ほか：前立腺癌・PSAP
    - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5 語 (英文) 以内の Key words、抄録本文の順に B 5 版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
    - (6) 英文原稿は A 4 版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
    - (7) 数字はすべて算用数字を使用し、単位は m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μg, %, °C などとする。
    - (8) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1. …, Fig. 2. …, Table 1. …, Table 2. … などと一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい (コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印 (直接写真に貼付) などを入れ、わかりやすくする。
  3. 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる (アルファベット順不可)。その数は 30 までが望ましい。和文は楷書で、欧文 (ワープロ可) はダブルスペースでタイプする。  
例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>8,11-13)</sup>によると…
- 雑誌の場合—著者名 (全員) : 標題. 雑誌名 巻 : 最初頁—最終頁, 発行年
- 例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. *J Urol* 124: 205-207, 1980
- 例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田 修: 経皮的腎碎石術 (PNL) および経尿道的尿管碎石術 (TUL) にみられる発熱について. *泌尿器科紀要* 33: 1357-1363, 1987
- 単行本の場合—著者名 (全員) : 標題. 書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年
- 例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: *Urolithiasis Research*. Edited by Fleisch H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 辻 一郎, 小柳知彦: 小児泌尿器科疾患. 市川篤二, 落合京一郎, 高安久雄編, 第 1 版, 9B, pp 48-71, 金原出版, 東京, 1983

- (8) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残し, オリジナルを書留で送付する.  
(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301 号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (9) 論文の採否: 論文の採否は編集委員で決定し, 連絡する.  
(10) 論文の加筆訂正: 審査の結果, 編集方針にしたがって原稿の加筆, 削除, および一部の書き直しをお願いすることがある. また, 編集委員の責任において多少字句の訂正をすることがある.  
(11) 校正は初校を著者による責任校正とし, 再校以降は編集部が行う. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.  
(12) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.
3. 掲載
- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.  
迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5 頁以内は 30,000 円, 6 頁以上は 1 頁毎に 10,000 円を加算したものを申し受ける.  
(2) 掲載料は 1 頁につき和文は 5,500 円, 英文は 6,500 円, 超過頁は 1 頁につき 7,000 円, 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.  
(3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.
4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al: Prostatic cancer, PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.

編集委員: 吉田 修(委員長) 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重  
新谷 浩 園田 孝夫 友吉 唯夫

---

泌尿器科紀要 第34巻 第6号 1988年6月25日 印刷 1988年6月30日 発行  
発行所 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
〒606 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎 301 号 電話 (075) 752-0100  
FAX (075) 752-0190  
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---